

市ヶ尾募集相談員会主催「合格祝賀会」を支援



相談員の激励の言葉に聞き入る入隊予定者ら



ゲームに挑む航空自衛隊入隊予定者たち

神奈川地方協力本部市ヶ尾募集案内所（所長 近藤一空尉）は、11月17日（金）、市ヶ尾募集案内所にて開催された募集相談員会主催の「合格祝賀会」を支援した。

招待されたのは、一般幹部候補生、一般曹候補生、自衛官候補生の試験を見事に突破し、入隊を控える高校生や大学生ら20名。

当日は、所長や広報官がホスト役を務め、招待者たちに楽しいひと時を提供した。合格者たちは年齢が異なる同期とコミュニケーションを取ったり、航空自衛官でパイロットのご子息をもつ募集相談員の話に耳を傾けたりしていた。合格者の一人は、同じ大学に通う参加者を見つけると、すぐに打ち解けて仲良くなり、話が弾んでいた。

陸海空の入隊先に分かれてのゲーム大会では、入隊先を問わず参加メンバーへ熱い声援が送られるなど白熱し、事務所内は熱気に包まれた。

最後に募集相談員顧問は「ここにいる誰一人として欠けることなく、来年3月に入隊を迎えてもらいたい」と話し、合格者たちは、この時ばかりは真剣な顔つきとなり、激励の言葉を真摯に受けとめている様子だった。

市ヶ尾募集案内所は、同期となる仲間たちと交流の場を設けることで絆が深まったと感じた。募集相談員からの激励を心に刻み、引き続き合格者たちを入隊まで導いていきたいとしている。

戦車体験試乗、精強機甲科隊員の優しさに触れて



74式戦車に試乗する参加者と五十嵐悠人君（中央）（駒門駐屯地）



74式戦車の操縦席から顔を出す五十嵐悠人君（駒門駐屯地）

神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 岡山一海尉）は、11月23日（木）、募集対象者2名に対して、陸自駒門駐屯地で実施された74式戦車の体験試乗を支援した。

友人と共に参加した専門学校1年生の五十嵐 悠人君は、南スーダンで活動する自衛官の姿に憧れ、将来はPKO活動に参加したいとの想いから自衛隊を志願し、来春、一般曹候補生として陸上自衛隊に入隊予定である。

当日は、まず最初に、最新式戦車である10式戦車を見学し、参加者はその精悍な外観に何度も戦車の周囲を歩き回るなど、その姿を目に焼き付けている様子だった。

続いて、機甲科隊員の誘導のもと74式戦車が登場し、後輪を上げたり、片方のキャタピラのみを作動させて、その場で回転したりするなど、戦車の機動性が披露されると、参加者からは大きな歓声が上がった。

五十嵐君は「想像以上の戦車の動きに驚きました。どんな悪路でも走行できますね」と感想を述べていた。

その後、戦車は参加者を乗せ、エンジン音を大きく響かせて駐屯地内を時速約40キロで走行し、五十嵐君は「揺れが大きくて楽しい」などと話し、友人と走行中の感想を笑顔で話していた。

体験試乗を終えると、隊員が撮影した90式戦車の写真がプレゼントされ、参加者は歓喜の声を挙げて受取り、五十嵐君は「きびきびとした動作で大きな戦車を動かす隊員の姿に頼もしいものを感じました。見た目は厳しそうなのに、とても親切で、写真まで用意してくれていて、優しさとても好感を持ちました。入隊後は戦車部隊での勤務も視野に入りたいです」と話した。

厚木募集案内所は、今後も募集対象者に対して、様々な機会を通じて自衛隊の活動や魅力を積極的にPRし、1人でも多くの若者に志願してもらえるよう募集活動に励んでいきたいとしている。